

四万十市に**大学を誘致**します！ (仮称)京都看護大学四万十看護学部誘致に向けて

大学誘致の目的

人口減少、少子高齢化は四万十市においても重大な問題となっています。四万十市下田の旧中医学研究所と旧下田中学校施設を活用し、京都看護大学の誘致を行い、進学による若者世代の人口流出の抑制を図るとともに、学生や教職員による経済活動や地域貢献活動による市民の健康維持増進、地域活性化並びに看護師の確保と看護の質の向上を図ります。

京都看護大学とは(4年制看護系単科大学)

京都看護大学は、58年の歴史と伝統を持つ京都市立看護短期大学を受け継ぎ、平成26年4月に誕生しました。**京都府内唯一の看護系単科大学**として充実した設備を整え、①看護の専門性や固有の価値、②看護学の総合理解と看護職者としての自立をもった看護師を育成しています。

四万十看護学部の設置

発展的に改組

四万十看護学院



- 看護専門学校(H25.4月設立)
- 看護学科3年制
- 定員：120名(40名×3学年)
- 合格率：91.0%(2018～2022年平均)
- 運営：学校法人 育英館

京都看護大学

四万十看護学部

2023年4月設置構想中

看護学部看護学科4年制

- 定員：320名(80名×4学年)
- 運営：学校法人 京都市育英館

開設時期 令和5年4月1日
入学定員 80名(収容定員320名)
開設場所 四万十市下田地内
修業年限 4年
取得学位 学士(看護学)
取得資格 看護師国家試験受験資格

新学部の設置

京都看護大学



- 看護系単科大学(H26.4月設立)
- 看護学部看護学科4年制
(大学院2年制併設)
- 定員：400名(95名,3年時編入10名)
- 合格率：98.8%(2018～2022年平均)
- 就職率：100%(開学以降)
- 運営：学校法人 京都市育英館

※ 設置計画は予定であり、今後内容に変更が生じる可能性があります。

お問い合わせ

四万十市企画広報課大学誘致推進室 (中田、小栗)

〒787-8501 四万十市中村大橋通4丁目10番地

TEL : (0880)34-9010 FAX : (0880)34-9066

E-mail : yuuchi@city.shimanto.lg.jp

四万十看護学部だからできること

◆四万十市や幡多地域の高校生が大学進学しやすい環境に

高知県の高校生は年々大学進学率が増加しており、特に女子高校生の大学進学率は全国平均を上回っていますが、現在高知県内にある看護系大学は国立1校、公立1校、私学短大1校のみです。新しく四万十市に京都看護大学四万十看護学部ができることで高校生の選択肢が増えます。

◆ICT教育

京都看護大学は、開学当初よりタブレット端末を活用した授業(遠隔講義システム)を導入しています。四万十看護学部にも同システムを導入予定のため、四万十にいながら都市圏の講義を受講できます。

◆総合的な看護の提供に繋がり、現職看護師のリカレント教育※が充実

四万十市に看護大学ができることで、地域に大学卒の学士力を持った看護師が増え、看護師研修の実施など看護師の学びの場が広がります。さらに、京都看護大学大学院に進学することにより、保健師国家試験受験資格が取得できるなど質の高い看護の提供へと繋がります。

※生涯にわたり、自らの意思で学び直せる生涯学習教育

◆四万十看護学部は地域の健康を支える拠点ヘルシーキャンパスに！

学士看護師養成だけでなく、学び直しや地域・社会貢献を積極的に展開し、地域の健康を支える拠点を目指します。

大学誘致の効果

- ◆経済効果
- ◆人口の増加及び関係人口、交流人口の拡大
- ◆リカレント教育
- ◆市民の学習機会の増加及び健康維持増進
- ◆災害看護の拠点(指定避難所機能に加え、看護の専門性を活かした拠点)

四万十看護学部学費・諸費用

種別	入学初年度			2年生以降 (各年)
	前期	後期	合計	
入学金	200,000円	—	200,000円	—
授業料	500,000円	500,000円	1,000,000円	1,000,000円
演習費	100,000円	100,000円	200,000円	200,000円
施設整備費	100,000円	100,000円	200,000円	200,000円
合計	900,000円	700,000円	1,600,000円	1,400,000円

※学費以外に保険代、実習用品(実習服・聴診器など)、学生支援費、テキスト代等が必要です。